

令和元年度 事業報告

1. 後見事業の概況

1) 後見受任数 (R2 年 3 月末現在)

* 新規受任の抑制と後見終了の増加により、期末受任数は目安の範囲内に収まる
(受任数の目安：40～50 件)

	期初	新規	終了	3 月末
契約後見	17	0	6	11
法定後見	38	2	4	36
合計	55	2	10	47

稼働支援員数 29名

受任数の推移

	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	R1 年
契約・法定計	42	41	48	46	46	45	46	46	55	47

2) 後見相談

相談数 19 件 (前年度 41 件) 内訳 施設・地域包括・ケアマネ等 8 件 (42%)
本人・親族 10 件 (53%)
行政その他 1 件 (5%)

3) 後見事務・特記事項

契約後見 終了が 6 件 (本人死亡 3 件, 合意解除 2 件, 法定後見移行 1 件)

法定後見 障害者支援の増加傾向続く (法定後見の 56% が障害者)
財産管理 / 後見制度支援預金 (湘南信金) の活用 2 件

死後事務 終了事務 (遺産引き渡し) での困難事例 2 件
地縁の碑への埋葬 (4 件) は、秋に延期

2 公益事業基金の運用状況

R1 度実績 1. 支出 地縁の碑/埋葬式、護持費用、散骨費用 (約 24 万円)
2. 短期貸付 2 件 (15 万円=返済完了)
3. 基金の期末残高 1657 万円

3 運営体制

1) ボランティア募集講座 講座参加者 28 名 新入会員 2 名

2) 業務改善 メーリングリストの運用開始
* 緊急連絡用 (登録者 22 名)
* 事務局連絡用 (登録者 32 名)

3) 新型コロナウイルス感染防止対策 3 月 16 日より、段階的に取り組みを開始
(施設訪問の自粛と事務所内作業のルール化)
* 新年度も、取り組み強化が求められる状況が続く